

巻頭言

「東日本大震災復旧・復興に關与して学んだシビル NPO 活動の限界」

NCP 常務理事 有岡正樹 (NPO 法人「スリム Japan」理事長)



社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 (「スリム Japan」) という NPO 法人をと動き出したのが今から 6 年余前で、丁度その頃、土木学会「成熟したシビルエンジニア活性化検討小委員会」が立ち上げられ、それに参加して、建設系 NPO 法人 (シビル NPO) 活動の実態と今後の在り方の調査・研究分科会に關わったのである。私的には「スリム Japan」、公的には「シビル NPO」を両輪とした、まさに「NPO 二輪馬車」である。どちらも 2 期 4 年ぐらゐで成果を取りまとめ「一丁上がり」、あとは後進に引き継いで古希をと思っていたのだが、その 2 期目に入つての半ば、2011 年 3 月 11 日「東日本大震災」に見舞われることになる。

想像もできないような津波のものすごさを目の当たりにし、我々「スリム Japan」技術集団としては、あの膨大な津波「がれき」と「汚泥」を、その分別と移動を最小限としたいわば「地産地消」的な再利用 (Re-use) 手段を検討した。「3.11 Green Hill」構想である。その成果物が将来も十分な役割を果たし、かつその処理方法により大幅に節減される時間と財源を少しでも多く復興 (Re-construction) に役立てる、そんな 非常時の大英断としての施策を期待して、提案したのである。「スリム Japan」設立のキーワードである「Re-エンジニアリング」を含め、これまでもいろいろの機会に紹介してきているので説明は略するが、そうした構想を公表し、現地を十数回も訪れてその都度、国・県・市町村の關係者とも話したが、多くが「総論理解・各論無視」の域を出なかつた。

その中身はともかく、単に NPO 法人の提言・提案である。「各論無視」の現実をイヤトというほど身につまされて行く。同じ思いを持つ仲間が連携・協働して議論し、より大きな集団の創意として、また土木学会のような中立的な組織のバックアップも得ながら世にその施策を問うことが必要であるとの思いが募っていった。そして建設系 NPO 中間支援組織の必要性を学会理事会に提言して 2 年余、その議論を深化させこうして去る 4 月の「シビル NPO 連携プラットフォーム (CNCP)」の設立に至つたのである。

そんな震災から 3 年余、CNCP も動き出したことでもあり、6 月末から 3 日間久しぶりに岩手、宮城両県の被災地を訪れた。3 年前毎月のように調査に訪れた際、どこもかしこも同じ地獄絵に見えたそれぞれの地域が、復旧・復興との視点で大きな格差を見せるようになってきている。そんな折日本 NPO 学会に關わり出し、「Social Capital」すなわち「社会資本」という土木技術者にとって馴染みの深い英語に、「社会關係資本」(人間關係) と訳される社会的学術用語の用途があり、NPO を含むサードセクター活動に極めて重要なキーワードであることを知った。もう訪れることはないかと思いつつ、東京都市大学大守隆教授が後者のソーシャル・キャピタルに關して著の中で触れておられた吉田松陰の、「かくすればかくなると知りながらややむにやまれぬ大和魂」という一句が、何回も脳裏をかすめるのであった。



陸前高田市の地盤嵩上げ現場 (支柱の奥に人工松が見える)

法人会員の活動予定などを情報発信

CNCP 個人正会員・日刊建設通信新聞社専務取締役 和田 恵

勢いのある、興隆している団体や企業は総じて、メディア活用に長けている。つまり、報道される機会、いわゆるメディアでの露出が多いのである。内容はさまざま、活動（経営）展望や計画・実績、技術・商品開発、人物紹介など多岐にわたる。報道されるきっかけは、メディア側からの取材申込みがあれば、発表もある。



いうまでもなく、報道内容は多様だ。善意だけでなく、批判的な記事も少なくない。それはともかく、釈迦に説法とは思いますが、存在や活動内容を広く周知するには、回数多く報道されるに越したことはないから、メディア対応はいかにあるべきか、優先して、その戦略を練り、実践すべきだろう。

最近は減多になくなったが、記者発表の後、「情報交換」を目的に一席設ける、あるいは食事を振る舞うといったことがある。レアケースだが、交通費などを提供するケースもある。それらを全面否定はしないが、そうした所作は、記者の信条（心情）を斟酌しないピント外れの愚拳といわざるを得ない。記者におもねる、またそうしたことを喜々として受け入れる記者を大切にする必要などない。あくまで報道する側の気概で言えば、記者は、情報に対するハイエナの存在である。記者には「飯ではなく、情報を食わせろ」である。

かつて、ある大手ゼネコンの広報体制を快く感じていた時期がある。広報責任者いわく、「メディアの大小で対応を変えることはしません。取材申込には、クイックレスポンスを心掛けています。取材に応じられるか否かの返事は、長くても3日以内にします。応じられる場合、対応者調整や実施時期のメドなどを伝えるようにしています」との姿勢を、担当させて頂いた期間中ずっと守り、実践してくれた。むろん、それらと併行して、メディアが呉越同舟の共同発表なども行われる。取材を申し込んでも返事はなく、検討の進捗具合を問い合わせると「ああ、そんなこと（申し込み）がありましたね」といった不誠実な対応が少なくないだけに、同社に好感を抱いたものである。

NPO 法人「シビルNPO 連携プラットフォーム（CNCP）」は中間支援組織として発足した。ということは、行政と地域、あるいはNPO支援などが主目的であろう。ならば、まずは法人正会員の悩みや活動予定、要望などを吸い上げ、「NPO支援の初弾取り組み」としてメディアに定期的に情報発信してはどうか。当然ながら、その際はクイックレスポンスを旨として……。いずれにせよ、確実にCNCP活動の周知と存在感アップにつながるはずである。

★NPO法人「シビルまちづくりステーション」が目指すもの★

この法人は、一般市民に対して、公共事業への市民参加や、快適な生活空間を作るための公共施設の有効活用、環境保全・防災対策等の推進・支援を行う。これらを実現するために関連する課題の研究、IT（情報と情報技術）活用、教育、利用環境の提供等に関する事業を行い、もって市民参加による住みよい環境の創造と豊かで安全な国土づくり、まちづくりに寄与することを目的としています。

【実施している主な活動】

◇ 市民参加・市民協働によるまちづくりの推進・支援

都市計画道路等公共事業の事業化に際し、市民の立場からその計画が地域にとって本当に有効か、環境面で支障が生じないか等を地域住民とともに検討し、より良い施設の建設に向けて活動している。

◇ 緑化、校庭・園庭の芝生化の推進

緑化による地域の居住環境の改善、児童の健全な心と体を育む環境を作るための校庭・園庭の芝生化の推進活動を行っている。校庭・園庭の芝生化では、ポット苗方式という芝生の早期育成方法を行って、学校、地域住民との協働で実施している。



校庭芝生化事業

◇ 出前講座・セミナー・フォーラム等の開催

「市民参加による国土づくり・まちづくり」というテーマで市民協働・合意形成や災害の防災安全対策等について市民を対象としたフォーラムを実施している。また会員の専門技術を活かした市民に解りやすい出前講座を企画している。

◇ 防災対策活動

東日本大震災の被災地に支援物資を届けると同時に被害状況を視察した。また千葉県で被害が大きかった液状化について調査し、市民に解りやすいパンフレットを作成するとともに液状化対策のフォーラムやセミナーなどを開催している。



液状化実験



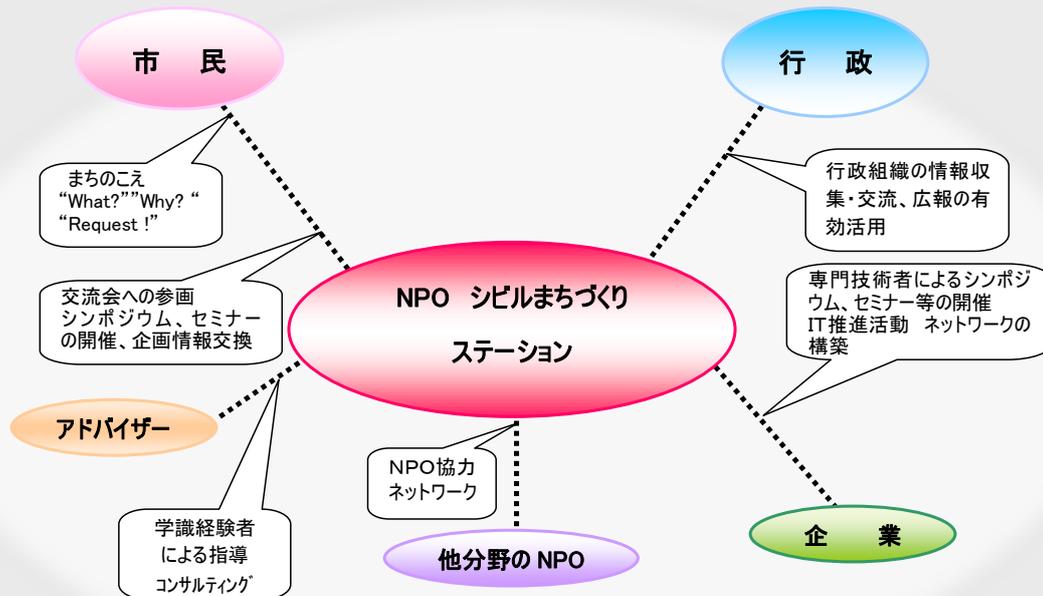
液状化対策セミナー

◇ 土木事業のイメージアップ活動

土木事業のイメージアップを図るため日本各地で住民に親しまれている橋を選定して逐次発表している。今までの成果は小冊子として発行されている。



橋 100 選 冊子 ▶



STATION(駅)っていろんな人がいろんな声があちこちから集まって来ますよね。私たちもそんな集合体でありたいと願っています。



設立記念フォーラム

【理事・会員】

理事長: 花村 義久
 副理事長: 森川 勝仁
 理事: 6名
 監事: 1名
 正会員: 27名
 準会員: 5名
 賛助会員: 6社

NPO法人 シビルまちづくりステーション メール <http://www.itstation.jp>
 事務局 〒273-0048 千葉県船橋市丸山 4-26-10
 Tel: 080-1283-5697 Fax: 047-439-2082
 本部 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-12-5 第3 中野ビル 4F
 Tel: 03-3987-6646 Fax: 03-3989-0062

グローバル(GLOCAL)な視点で見直そう、 土木分野における NPO・NGO 活動を！

開催日時：平成 26 年 9 月 10 日(水) 16:15~18:15

場 所：大阪大学（教室等詳細未定）

参加無料

座 長：有岡 正樹（NPO 法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会理事長）

話題提供者:いずれも仮題

- 山本 卓朗 NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム代表理事
「土木分野における中間支援組織発足と今後の展開」
- 多々納 裕一 京都大学防災研究所教授、土木計画学研究委員会幹事長
「NPO と土木計画学」
- 山内 直人 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
「社会インフラ整備における NPO の役割」
- 皆川 勝 東京都市大学教授（シビル NPO 連携プラットフォーム地域連携担当理事）
「小さな連携事例の積み重ね（1）－地域インフラ長寿命化での役割」
- 松田 曜子 関西学院大学災害復興制度研究所研究員・准教授
「小さな連携事例の積み重ね（2）－被災者支援と防災の現場より」

主 題：土木学会教育企画・人材育成委員会では、5 年余の調査・研究活動を経て、土木学会 100 周年記念事業の一環としてこの 4 月に NPO 支援組織「シビル NPO 連携プラットフォーム」を設立した。この機会にシビル NPO 法人およびその支援組織が果たす役割と今後の課題について、グローバル（総論的）かつローカル（各論的）の両面に視点をあてて教育企画・人材育成／土木計画学研究両委員会の共催で議論を展開する。外部からは NPO 活動研究の第一人者である山内直人日本 NPO 学会元会長に、国際比較を含め総論的な視点での、また、松田曜子先生および皆川勝先生にはそれぞれ今後の中長期的な課題である「巨大災害対応」と「インフラ長寿化」という二つの論点で、‘地域連携の積み重ね’をキーワードに各論的な話題提供をいただき、山本卓朗元土木学会会長および多々納裕一土木計画学研究委員会幹事長を含む 5 名が会場をも巻き込んで意見交換を行い、今後の具体的な活動の動機付けとしたい。

定 員：60~100 名

時間配分：(全 120 分の想定)

- 話題提供：@7 分×2=14 分、@18~19×3=56 分 計 70 分
- 意見交換：45 分
- 前後の挨拶：5 分

主 催 者：教育企画・人材育成委員会および土木計画学研究委員会の共催

実施組織：建設系 NPO 中間支援組織設立準備会（教育企画・人材育成委員会の小委員会）

実施責任者：駒田智久(設立準備会委員長)

NPO 活動を継続的にしてゆこうという考えをお持ちの方々は、グローバルな視点から何らかの意味で社会に貢献したいという意思をお持ちであると思います。一方、NPO の組織化のきっかけは多様ですが、一つ言えることは、発足の時点で何らかの問題や意識の共有をされた方々が、しかも一緒に活動できるようにある程度限定されたローカルな地域において活動されている場合が多いのではないのでしょうか。すなわち、いわゆる 'Think Globally Act Locally' を実践されている方々であると言えます。



個々の NPO 単体での機能や成果は、その構成員などの人的資源に依存するため、同じような問題意識をお持ちの他の NPO のメンバーと連携することで集団的に機能し、より大きな力を発揮し、全体が飛躍的に発展することが期待されます。また、当然のことながら、シビル関連の課題を取り上げる場合、公的組織、とりわけ地域の自治体等との連携は重要で、また、専門的知見を有する有識者との連携も大変重要となります。

中間支援組織の設置目的は、NPO の抱えるさまざまな問題を総合的に取り上げ、全体の発展のための道を切り拓くことであり、地域連携の推進は最も重要な目的の一つです。そのために、NPO 相互の情報交換会の定期的な開催や行政など公的機関との情報交換、あるいはメールやウェブを通じた他の NPO の活動に関する情報提供、他の会員 NPO に参加する技術者の専門分野・得意分野の情報提供なども実施してゆきます。

地域活動推進部門は、それぞれの会員 NPO が、同地域の他の NPO、全国の NPO、地域の自治体や有識者と、有効な連携が実現できるよう推進・支援活動をしてまいります。その際、各会員 NPO が組織として、あるいはそこに参画されている個人がどのような連携の在り方を望まれているかをなるべく正確に把握し、CNCP 本部としての活動に活かしてゆきたいと思っております。この活動にご興味の方はぜひご連絡をください。多くの方々と協力をして CNCP の活動を進めたいと希望しています。

連絡先は (minatororo@gmail.com 皆川勝) です。

平成 26 年 7 月

事務局通信

1. CNCP 通信 Vol 2 でご案内しました設立記念シンポジウム（8 月 1 日）に是非参加をしていただきます様お願いします。申込はメールで事務局まで！
2. 今回ご案内しました研究討論会は、無料です。参加していただける方は、事務局までメールでお知らせいただきます様お願いします。
3. 7 月 7 日現在の会員数
法人正会員 17、個人正会員 18、法人賛助会員 13 合計 48

事務局

お問い合わせは
こちらまで

シビル NPO 連携プラットフォーム

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 13 番地 7
名古屋ビル本館 2 階 コム・ブレイン内

事務局長 内藤 堅一：info@npo-cnnp.org

ホームページ URL：<http://npo-cnnp.org/>

